

現代に生きている私たちは、どこか遠くへ行ってみたいと思うことがある。  
知らない街を歩いてみたいし、知らない海をながめてみたい。  
ふっとそんな旅がしたくなる。



《View, a slope, 10am 7 Oct 18 / 2019》

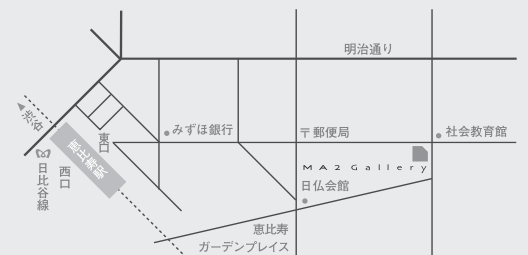
2019, pigment, acrylic, and other on canvas, 73x91.2cm

協力: ANOMALY

2019 10.12 (sat) — 11.2 (sat)

津上みゆき 野又穂

どこか遠くへ



MA2 Gallery

渋谷区恵比寿3-3-8 150-0013 日月祝日休み 12:00 - 19:00  
03 3444 1133 ma2@ma2gallery.com www.ma2gallery.com



# 絵の旅 Vol4

野又 穫 津上 みゆき

2019 10.12 (sat) — 11.2 (sat)

《Torch-4》2019, acrylic on canvas, 41.3×24.4cm



ギャラリーシリーズ「絵の旅」は今回で4回目の開催になります。  
「どこか遠くへ」というあてもないような場所は、何処にあるのでしょうか。  
もしかしたら絵画の中にそんな場所があるのではないのでしょうか？



《View, a street, 7:40pm 8 Feb 2019》  
2019, pigment, acrylic and other on canvas  
91.2 x 73cm

津上みゆき Mlyuki Tsugami

1973年東京に生まれ大阪に育つ。

京都造形芸術大学大学院修了。1996年NY滞在中に制作、作品について再考する機会を得、帰国後独自の絵画を改めて探求し始める。2003年VOCA賞受賞。2005年大原美術館が行う滞在制作プログラムにおいて日々のスケッチを元に風景画を描くという現在まで続く制作方法を確立した。全て作品のタイトルには“View”という言葉冠しており、それは単に主題が眺めや風景だけでなく、見方や観点という広義を意識した制作に取り組んでいる事に由来する。2013年五島文化財団美術新人賞受賞。風景画誕生の地と言われるイギリスに滞在し、制作するとともに過去の風景画家とその作品についての研究と制作を行った。主な個展に、2005年「ARCO 津上みゆき」(大原美術館)、2013年「View—まなざしの軌跡、生まれくる風景」(一宮市三岸節子記念美術館)、2015年「日本の風景、ウッカーマルクの風景」(ドミニカナークロスター・プレントラウ/ドイツ)、2018年「時をみる」(上野の森美術館ギャラリー)、2019年「View—人の風景」(長崎県美術館)。

主なコレクション：大原美術館、オリックス株式会社、九州歯科大学、京都造形芸術大学、倉敷中央病院、国立国際美術館、第一生命保険株式会社、千葉県柏市、モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社



《ascending descending-8》  
2018, oil on canvas  
80.5 x 41.3cm

野又穫 Minoru Nomata

1955年東京生まれ。

1979年に東京藝術大学美術学部デザイン科を卒業後、実在しない建造物をモチーフとした独自の空想建築絵画を描き始め、これまでに「ニュー目黒名〈画〉座」(1993-1994年目黒区美術館)「野又穫の空想建築」(1995年リアス・アーク美術館/宮城)「カンヴァスに立つ建築 -Architecture on Canvas-」(2004年東京オペラシティ アートギャラリー)など多数の個展を開催してきた。現実と非現実の境界を取り払うかのように、建築、自然、街のすがたを創出する一方で、透徹した視線は光や「気」のように、形のないものにも向けられ、場の気配を描くことに力を注いでいる。

近年の主な展覧会に2010年「もうひとつの場所 -野又穫のランドスケープ ALTERNATIVE SIGHTS」(群馬県立近代美術館)、「現代の美術II」(群馬県立近代美術館、10,15,17,18年)、2012年「blue construction」(佐賀町アーカイブ)、2018年「終わりのむこうへ：廃墟の美術史」(渋谷区立松濤美術館)、「ASCENDING DESCENDING」(佐賀町アーカイブ)、2019年「収蔵品展 コレクター頌 寺田小太郎氏を偲んで」(東京オペラシティ アートギャラリー)などがある。

主なコレクション：東京オペラシティ アートギャラリー

主な著書：「Points of View - 視線の変遷」2004年東京書籍、「もうひとつの場所 -

Alternative Sights」2010年青幻舎、「Elements - あちら、こちら、かけら」2012年青幻舎